

(ホクレン RTK システム)

ホクレンでは、令和元年4月より「ホクレン RTK システム」として、高精度な農作業を行うために必要となる、位置補正情報の配信サービスを開始しています。

本システムの運営は生産者（利用者）と JA とホクレンのそれぞれが役割を分担し合う「系統自主運営方式」を基本としています。

(運営のポイント)

- ①ホクレンがクラウドサーバー上の配信システムを一元管理・運用し、JA（基地局）と利用者とのネットワーク化を図ることでトータルコストを低減する。
- ②参加の JA 基地局の不具合発生の際、近隣に対応基地局がある場合は、復旧まで暫定的に近隣基地局の補正情報を配信する。
- ③複数 JA で一つの基地局を共有することで、参加者全体の基地局設置コストの低減を図ることとして、生産者の低コスト利用を目指すと同時に基地局のネットワーク化による相互利用と相互補完の運用を図る。

(参加状況)

本稼働から1年が経ち、令和2年5月末日時点で北海道内45農協が参加し、ID登録数は2,161となっています。

今後は、利用効果を整理し、さまざまな場面で情報発信することで、システムのさらなる利用拡大を目指しています。

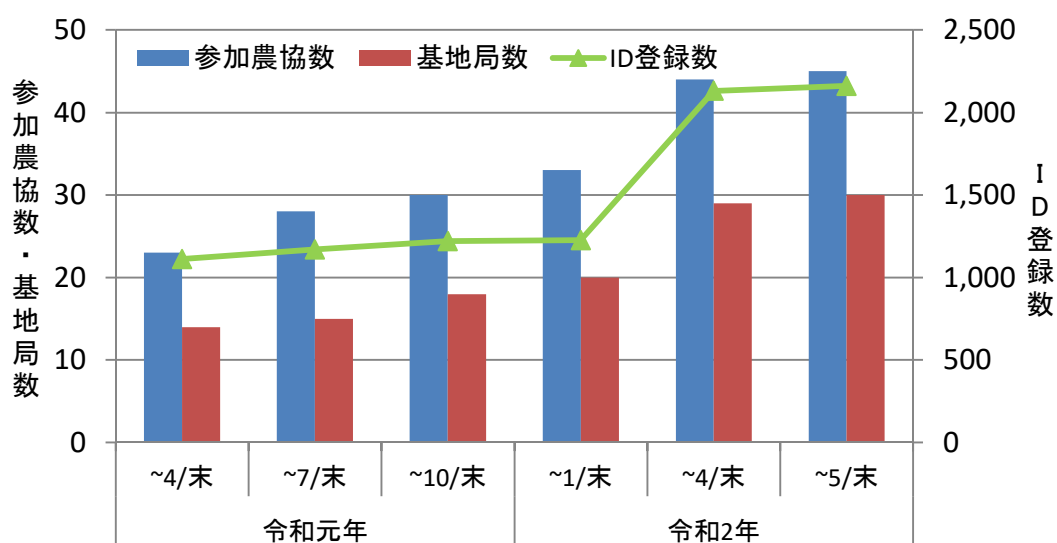


図. ホクレン RTK システムの参加数